

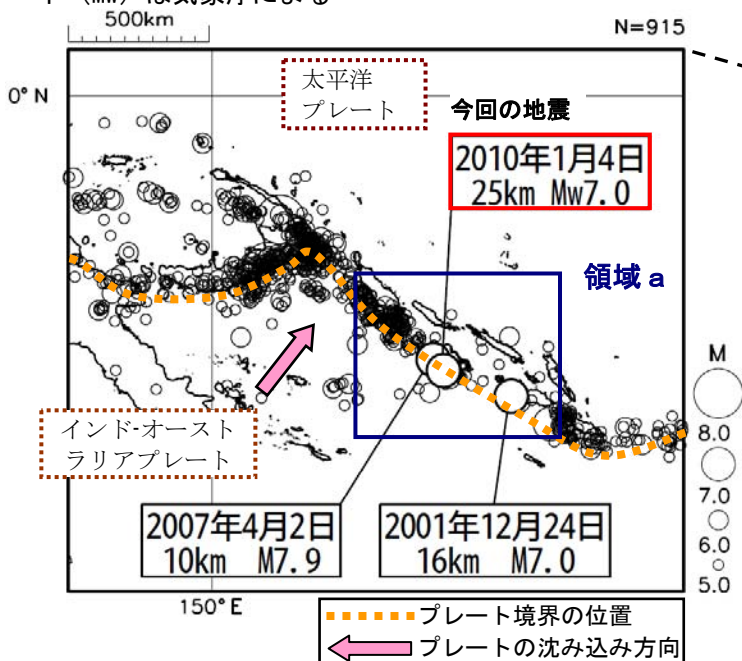
1月4日 ソロモン諸島の地震

2010年1月4日07時36分（日本時間）にソロモン諸島でMw7.0（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

気象庁は、同日08時04分に北西太平洋津波情報を、08時09分および09時15分に遠地地震に関する情報を発表した。今回の地震の震源の約300km東方にあるホニアラでは、この地震による数cm程度の津波を観測した（太平洋津波警報センター[PTWC]による）。また、この地震に先立って、同日06時48分（日本時間）にM6.4の地震が発生した。1月5日21時15分にもM6.8の地震が発生した（米国地質調査所[USGS]による）。

今回の地震は、太平洋プレートとインド-オーストラリアプレートのプレート境界付近で発生した。今回の地震の震源周辺では、M7.0以上で津波を伴う地震が頻繁に発生している（宇津の「世界の被害地震の表」および西海岸/アラスカ津波警報センター[WC/ATWC]による）。

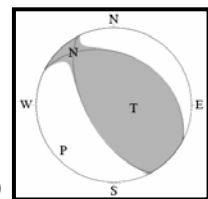
震央分布図（2000年1月1日～2010年1月6日、深さ0～100km、M≥5.0）
 ※震源要素は米国地質調査所による。今回の地震のモーメントマグニチュード（Mw）は気象庁による



今回の地震の震央位置

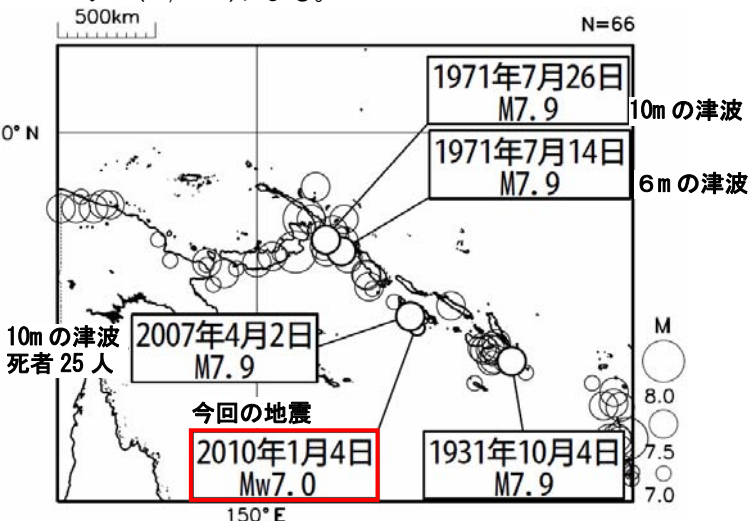


今回の地震の発震機構（気象庁によるCMT解）

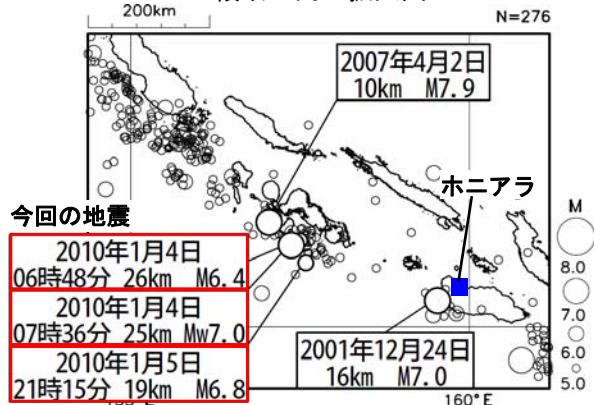


震央分布図（1900年1月1日～2010年1月6日、深さ0～100km、M≥7.0）

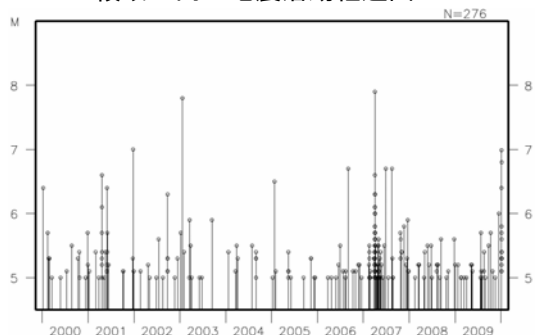
- ※ 震源要素及び被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。今回の地震の震源は米国地質調査所による。今回の地震のモーメントマグニチュード（Mw）は気象庁による。
- ※ 津波の高さ（最大の高さ）は西海岸/アラスカ津波警報センター(WC/ATWC)による。



領域 a 内の拡大図



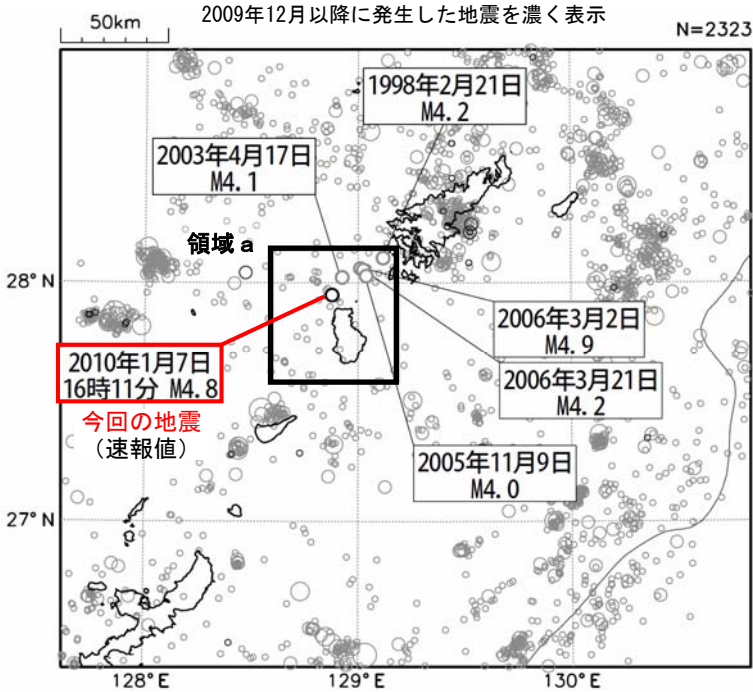
領域 a 内の地震活動経過図



1月7日 奄美大島近海の地震

震央分布図

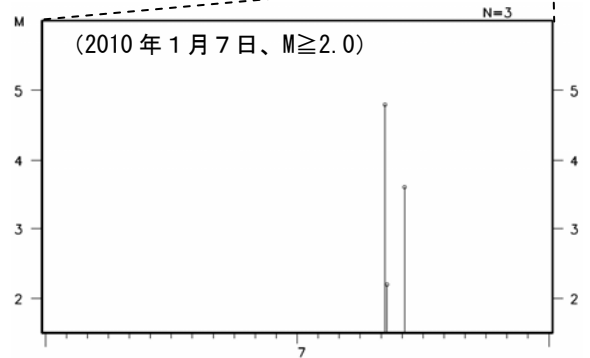
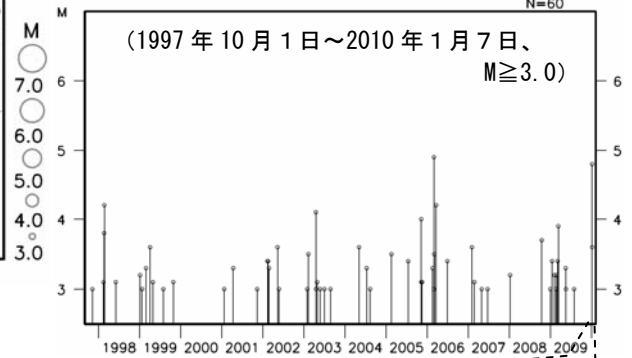
(1997年10月1日～2010年1月7日、深さ0～90km、 $M \geq 3.0$)



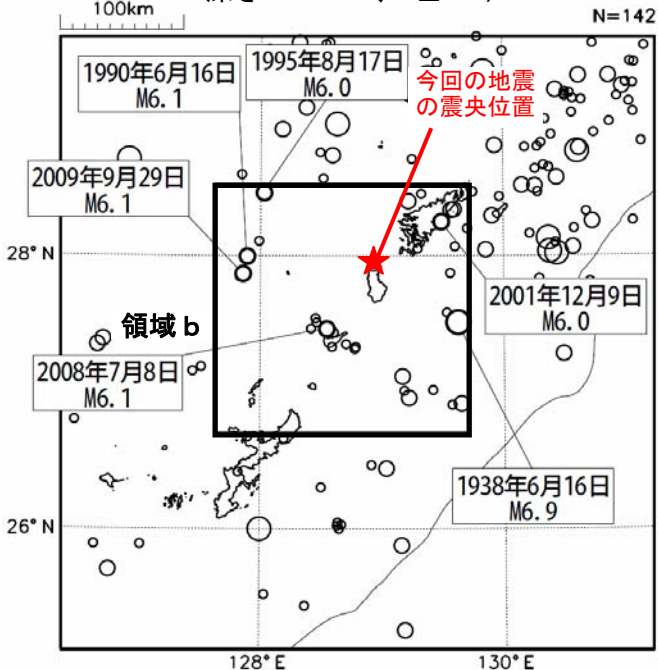
2010年1月7日16時11分に奄美大島近海で M4.8 (速報値) の地震 (最大震度4) が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、M4～5程度の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していない。

領域 a 内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月1日～2010年1月7日、深さ0～90km、 $M \geq 5.5$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の震央周辺 (領域 b) は、M6.0以上の地震がしばしば発生している領域である。

領域 b 内の地震活動経過図

